

撮影箇所一覧表（出来形管理）

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	3 河川・砂防土工	2	1	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-3-2 ・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上の設置状況がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	
							「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による 1工事1回 〔掘削後〕	
				2	掘削工（面管理）	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	1-2-3-2 ・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上の設置状況がわかるように撮影
						法長（法面）	「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による 計測毎に1回 〔掘削後〕	
			3	1	盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	1-2-3-3 ・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上の設置状況がわかるように撮影
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200mに1回 〔施工後〕	
							「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による 1工事に1回 〔施工後〕	
				2	盛土工（面管理）	施工状況 図面との不一致時	図面と現地の不一致の写真計測毎に1回 〔発生時〕	
						巻出し厚	200mに1回 〔施工後〕	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕	
						法長（法面） 幅（天端）	「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領（土工編）（案）」による 計測毎に1回 〔施工後〕	

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
1 共通編	2 土工	3 河川・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕	1-2-3-4
			5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120m又は1 施工箇所に1 回 〔仕上げ時〕	1-2-3-5
			6		堤防天端工	厚さ 幅	200mに1 回 〔施工後〕	1-2-3-6
		4 道路土工	2	1	掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1 回 〔掘削中〕	1-2-4-2
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	1 工事に1 回〔掘削後〕	
						「T Sを用いた出来形管理要領(土工編)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による計測毎に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上の設置状況がわかるように撮影	
			2	掘削工(面管理)	施工状況 図面と現地との不一致	図面と現地の不一致の写真計測毎に1 回〔発生時〕		
					土質等の判別	地質が変わる毎に1 回 〔掘削中〕		
					法長(法面)	「T Sを用いた出来形管理要領(土工編)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による計測毎に1回 〔掘削後〕		
			3 4	1	路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1 回 〔巻出し時〕	1-2-4-3
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1 回 〔締固め時〕	1-2-4-4
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1 施工箇所に1 回 〔施工後〕 「T Sを用いた出来形管理要領(土工編)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による計測毎に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TSの設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況がわかるように撮影

編	章	節	条	項	工 種	写真管理項目		摘要
						撮影項目	撮影頻度[時期]	
	2 土工	4 道路土工	3 4	2	路体盛土工 (面管理) 路床盛土工 (面管理)	施工状況 図面と現地との不一致	図面と現地の不一致の写真 計測毎に1回〔発生時〕	
						巻出し厚	200mに1回〔巻出し時〕	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる 毎に1回〔締固め時〕	
						法長(法面) 幅(天端)	「TSを用いた出来形管理 要領(土工編)」または 「RTK-GNSSを用いた出来形 管理要領(土工編)(案)」 による 計測毎に1回〔施工後〕	
	3 無筋、 鉄筋コン クリート	6 鉄筋	5		法面整形工(盛土 部)	仕上げ状況 厚さ	120m又は1施工箇所 に1回〔仕上げ時〕	1-2-4-5
			4		組立て	平均間隔	コンクリート打設毎 に1回(重要構造物かつ 主鉄筋について適用)	1-3-6-4
						かぶり	コンクリート打設毎 に1回(重要構造物かつ 主鉄筋について適用)	
3 土木工事 共通編	1 一般施 工	3 共通 的工 種	4		矢板工〔指定仮 設・任意仮設は除 く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢 板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所 に1回〔打込前後〕	3-1-3-4
						変位	40m又は1施工箇所 に1回〔打込後〕	
						数量	全数量〔打込後〕	
			5		縁石工(縁石・ア スカープ)	出来ばえ	種別毎に1回〔施工前 後〕	3-1-3-5
			6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所 に1回〔施工後〕	3-1-3-6
			7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防 止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分 がある場合)〔施工後〕	3-1-3-7
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 〔施工後〕	